

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
この度、下記検査項目につきまして、検査の受託を開始させていただく事となりましたので、ご案内申し上げます。

敬白

2026年3月

【記】

◇新規受託開始検査項目

項目コード:2922

便中カルプロテクチン/ラテックス凝集比濁法

受託開始日:2026年3月21日(土)受付分より

カルプロテクチンは主に好中球に存在する炎症応答蛋白質です。
腸管炎症時に糞便中へ流出するため、その濃度を測定することで腸管炎症の程度を把握することが可能です。潰瘍性大腸炎（UC）やクローン病に代表される炎症性腸疾患（IBD）の診断および活動性の評価には、内視鏡検査による観察と組織評価が必要ですが、侵襲的な内視鏡検査は患者様の大きな負担となります。
本検査は、IBDなどの器質的疾患と過敏性腸症候群（IBS）などの機能性腸疾患の鑑別、および潰瘍性大腸炎とクローン病の病態把握に有用な非侵襲的な検査です。
また、臨床的寛解期における糞便中カルプロテクチン濃度の上昇は、その後の再燃に関連することが報告されており、再燃予測が可能となります。
この度、所要日数短縮を目的とし、ラテックス凝集比濁法の試薬を用いた検査の受託を開始いたします。

※ 当該検査の受託開始にともない、従来の便中カルプロテクチン/FEIA法(項目コード:2901)は2026年3月28日(土)受付分をもって検査の受託を中止させていただきます。

※ 検査要項の詳細は裏面をご参照下さい

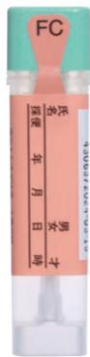
お問い合わせは最寄りの営業所または、
本社・研究所にお願いいたします。

SMS 株式会社 **昭和メディカルサイエンス**
本社・研究所：東京都町田市南町田三丁目45番18号
TEL 042 (795) 6000

◇検査要項

検査項目名	便中カルプロテクチン
項目コード	2922
検体必要量/保存	糞便/冷蔵
検体容器	(新設)⑨：便中カルプロテクチン専用容器
検査方法	ラテックス凝集比濁法
基準値	50.0以下
	炎症性腸疾患の診断補助：50.0以下 潰瘍性大腸炎の病態把握の補助：300.0以下 クローン病の病態把握の補助：80.0以下
単位	μg/g
報告範囲	20.0以下～2720.0以上
報告桁数	小数第1位
検査実施料/判断料	268点/34点(尿・糞便等検査判断料)
所要日数	3～5日
備考	専用容器にてご提出ください。 他項目との共用依頼はできません。

◇便中カルプロテクチン専用容器と提出用袋



検体採取方法：容器添付の説明書をご確認ください。

提出方法：採取後、専用容器を専用提出用袋（紫色）に入れてください。

容器の限定：専用容器以外（便中ヘモグロビン容器、その他便容器等）では受付できません。

他項目との共用：不可。（便中ヘモグロビン定量検査との共用はできません）